



生きものの“つぶやき”：
「君も飛ぶんだね！」

エッセイ：

休日のお昼頃、突然父に呼ばれ何かと思えばマリモが浮いていた。というか飛んでいた。「まりもって飛べるんだ…」それが私の初発の感想である。マリモとは、普段湖の底に沈んでいる丸く絡み合った藻のかたまりである。ころころと湖の底に集まる可愛いその姿は日本の北海道のみ（一部例外あり）で見ることのできる景色である。誰もがまりもと言われればその光景を思い浮かべるであろう。しかし私がマリモ素人だからか、まりもが飛べるなんて聞いたことがなかった。マリモは自分の光合成で作った酸素で浮いていた。自分を持ち上げられるほどの酸素を作っていたのだ。私はその小さな植物から、生きるという強く確かな力と自然の不思議について改めて教えてもらえた。これからも尊敬と好奇心の気持ちを忘れずに自然の不思議を探し守っていききたい。(346字)

生きものの紹介:

緑藻植物門アオサ藻綱シオグサ目シオグサ科シオグサ属またはマリモ属の球状集合体を作る淡水性の緑藻の一種。生物としてのマリモの一個体は小さな糸状の繊維で、球状集合型のほかに、綿状の浮遊型、湖底の石・岩や湖岸のロープ、杭など人工物につく着生型としても生息する。

撮影場所・日時:

自宅 2023年2月27日

応募者の自己紹介:

1. 氏名：船越 凜音
2. 高校・学年：東京都立富士高等学校・2年
3. 所属：写真部

審査員からのコメント:

飛ぶ、という見立てが素晴らしい